


ぼくらの知らない  薬害

けい

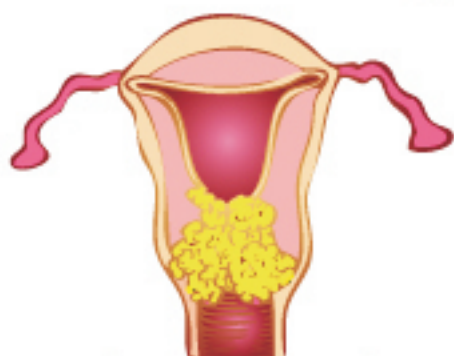
子宮頸がん ワクチン



THINKER mini book 2

けい
子宮頸がん
どんな病気？

女性にしかない臓器・子宮。
その子宮の入り口部分にで
きるがんを「子宮頸がん」
と言います。また、子宮体部
にできるがんを「子宮体がん」
(子宮がん) と言います。



子宮頸がん



子宮体がん

もし、子宮頸がんになったら…

子宮や
子宮のまわりを
摘出
する場合も

妊娠・出産
できないことも

がんが
進行すると
生命
の危険も

とてもこわい。
予防できるならしたいよ！

けい
子宮頸がん
ワクチン

の必要性が
マスメディアで
叫ばれている。

そこで
いま



でも、本当に
効果あるの？

危険性は
ないの？

けい 子宮頸がん ワクチン



どんなワクチン
なのだろう？

の基礎 1・2・3

1 そもそもワクチンってなに？

ワクチンとは… 弱めたウイルスやウイルスの死骸を注射することにより、体に抵抗力をつけ、病気を予防できるとされています。

※製薬会社の主張です。

2 子宮頸がんワクチンの中身ってなに？

子宮頸がんの原因とされるヒトパピローマウイルス（HPV）の「殻」（抗原）が主成分です。

3 ワクチンは何回接種するの？

3回接種することで、発がん性HPVの感染を数年間、防ぐことができるとされています。

※製薬会社の主張です。

おまけ

ヒトパピローマウイルス（HPV）とは？

HPVは皮膚や粘膜に感染するウイルスで、**100種類以上**のタイプがあります。このうち、**約15種類**は子宮頸がんの原因となることが多いため、**発がん性HPV**と呼ばれています。

発がん性HPVの多くは、性交渉の時に感染します。



HPV
顕微鏡写真

ワクチン接種は賛成意見ばかりではないんです！



子宮頸がんを予防するには
ワクチンを接種したほうが
よいと推奨する人もいれば、
ワクチン自体が危険なので
接種に反対する人もいる。

ときに命にも
関わることだから
両方の意見を
聞いてから
決めたい！

では、両方の意見を比べてみましょう！



ワクチン推奨派の意見



子宮頸がんの原因は、ほぼ **100% ヒトパピローマウイルス** の感染。他のがんと異なり、原因がはっきりしているから予防できる。

※あくまで接種後のHPV予防に効果があるもので、すでに感染しているHPVを排除したり、がん細胞を治す効果はない。



海外では、**100ヶ国以上** で使用されているワクチン。



発がん性HPVのなかでも、とくに子宮頸がんの原因として報告されている **16型** と **18型** の感染をふせぐことができる。



ワクチンに含まれるウイルスは、中身（遺伝子）がないので、ワクチンで感染することはない。



ワクチン反対派の意見



発がん性HPVに感染しても **90%以上は自然消滅**する。子宮頸がんに進展するのは、**約0.1～0.15%**以下で、通常**数年～十数年**かかると推測されている。

性交渉で感染する“ありふれたウイルス”に予防は必要？



日本人の子宮頸がんの原因は、**HPV52・58型**が比較的多く、HPV16・18型は全体の**60%**にとどまる。HPV16・18型予防に製造された輸入ワクチンでは、予防効果が限定される。

すべての発がん性HPVを予防できるわけではない！



ワクチンには、**水銀系保存料・チメロサル**が含まれていて、神経系の病気（自閉症・ギランバレー症候群など）の**副作用の恐れ**がある。また、ポリソルベート80といった**不妊剤**が含まれている。

子宮を守るためのワクチンで“不妊”になる可能性も!?



インドでは、メルク社の『ガーダシル』を、2年間で120人の少女に接種して**4人死亡**。'09年イギリスで、グラクソ・スミスクライン社の『サーバリックス』接種直後に**14才の少女が死亡**。現在、日本で接種されているのは、同じ『サーバリックス』である。

死亡例まで出ているのに、
その危険性は伝えられることなく
ワクチンは推奨されている……



世界では…

強制接種への動き

エホ!
エホも?



アメリカでは、ワクチン接種の**義務化**に動き出している。接種を受けていない児童は学校への登校や進級を禁止する法律を作り、実施している州もある。

ギリシャは国家政策で、児童へのワクチンを**義務化**。

アメリカ、オーストラリア、韓国などでは、**9～15才までの男児**にまで、ワクチンが推奨されている。

(女性に感染させる原因として)



日本では…

政府・自治体・マスコミによる

ワクチン推奨

子宮頸がんワクチンへの**公費助成**を表明する自治体が、全国に広がっています。'09年12月、新潟県魚沼市、埼玉県志木市、兵庫県明石市では、小学6年生から中学3年生の女子を対象に全額補助することを決定。名古屋市では、半額補助することになった。'10年5月には**日本初、栃木県の小学生女子10名に公費によるワクチン接種が開始されました。**

(ワクチンは1回15,000円、3回接種で45,000円かかる)

ありがた
めいわく!



まとめ

ワクチンを打つまえに考えよう！

★ 子宮頸がんの原因とされるヒトパピローマウイルス（HPV）は、性交渉で感染する、ごくありふれたウイルスである。



ワクチンには、HPV感染を排除する効果はないので、**性交渉を経験した女性に、ワクチンは意味がない。**

★ ワクチンは**すべての発がん性HPVを予防するものではない**。とくに**輸入ワクチン**の効果は日本人には限定的である。

★ 発がん性HPVに感染しても**90%以上は自然消滅する**。

★ ワクチンは、**死亡例を含む**多数の致命的な**副作用**が報告されている。**不妊症を含む長期的なリスクは不明である**。

子宮頸がんワクチンの必要性が、マスメディアを中心に訴えられています。しかし、世界ではすでに副作用などの被害を受けている人もいるのに、ワクチンの危険性はあまり報道されていません。安全性は疑問です。税金を使用した公費助成もよく考える必要があります。また、無料だからといって安易に接種することは危険です。

THINKER

QUESTION AUTHORITY

THINKER mini book シリーズ

1. ぼくらの知らない環境問題
「ケムトレイル」
2. ぼくらの知らない薬害
「子宮頸がんワクチン」
3. ぼくらの知らない社会
「お金のしくみ」
4. ぼくらの知らない世界
「戦争のしくみ」
5. ぼくらの知らない現実
「人口を減らすってホント？」

大きな問題をまえに個人ができることは、ひとりでも多くの人に知ってもらうことです。「伝える」活動にご協力ください。そのツールとして、この mini book をご利用ください。

すべての考える人々へ

<http://www.thinker-japan.com>